

グラフでみる加工食品の 生産・販売、外食等の指標



目 次

<グラフでみる生産販売統計>

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

<今月のトピック>

- ・令和6年食料品物価の上昇について



1. 加工食品の生産動向

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。

ここでは、加工食品の品目別の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。

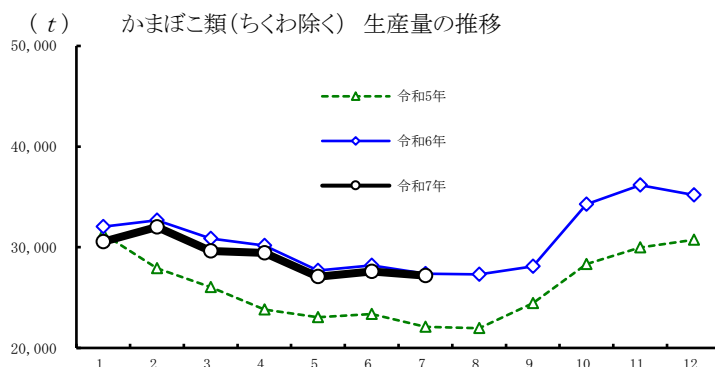
なお、詳細は、<https://www.fmrir.or.jp/stat/index.html>

「食品製造業の生産動向」をご覧ください。

○ かまぼこ類

生産量 対前年同月比

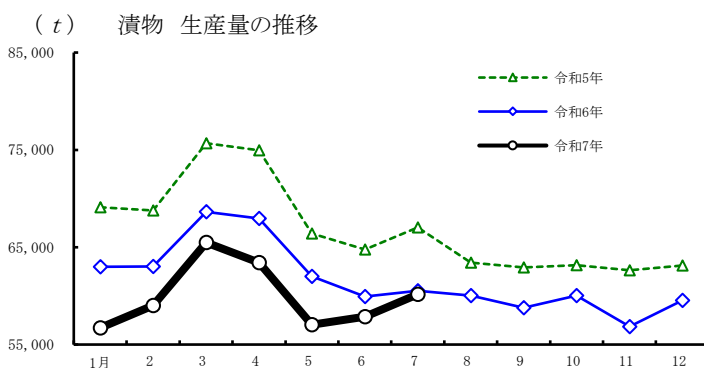
7月 0.7% 減少



○ 漬物

生産量 対前年同月比

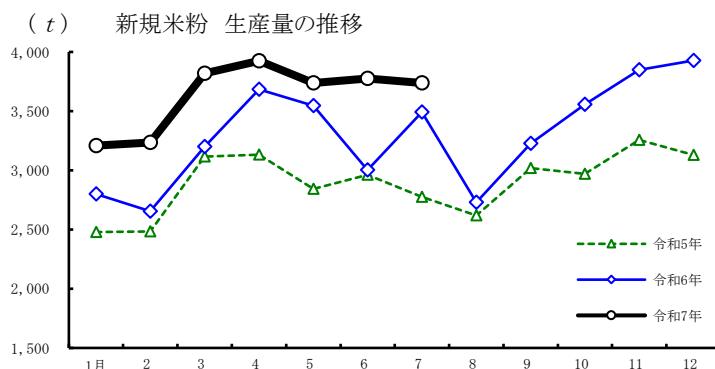
7月 0.6% 減少



○ 新規米粉

生産量 対前年同月比

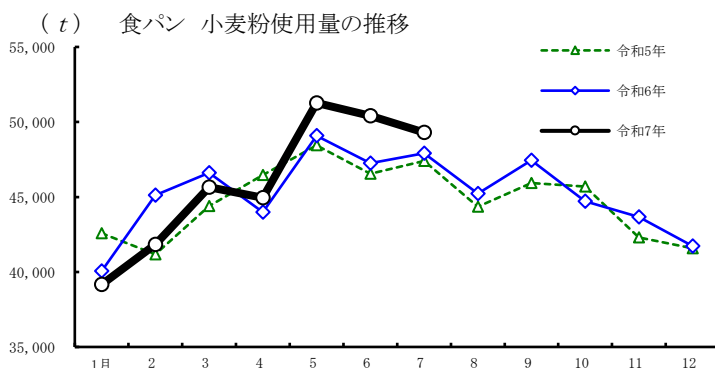
7月 7.1% 増加



○ 食パン

小麦粉使用量 対前年同月比

7月 2.9% 増加



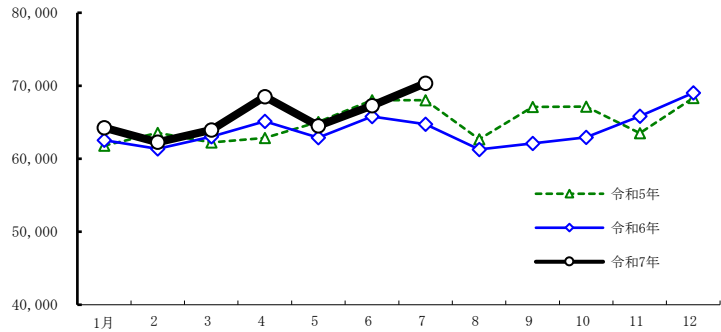
1. 加工食品の生産動向

○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比

7月 8.7% 増加

(t) 生めん類 小麦粉使用量の推移

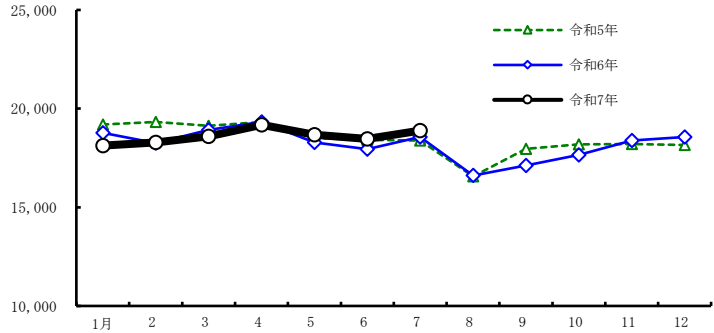


○ 即席カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比

7月 1.7% 増加

(t) カップめん 小麦粉使用量の推移

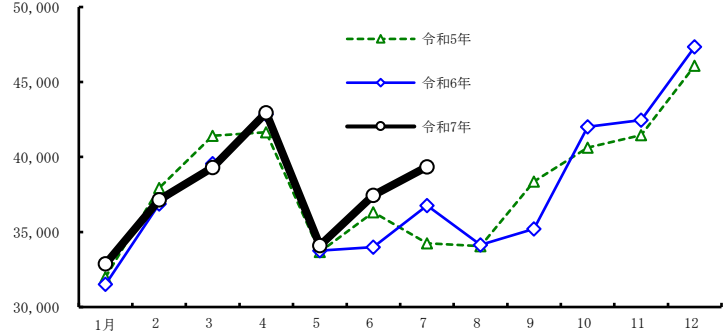


○ 味噌

生産量 対前年同月比

7月 7.0% 増加

(t) 味噌 生産量の推移

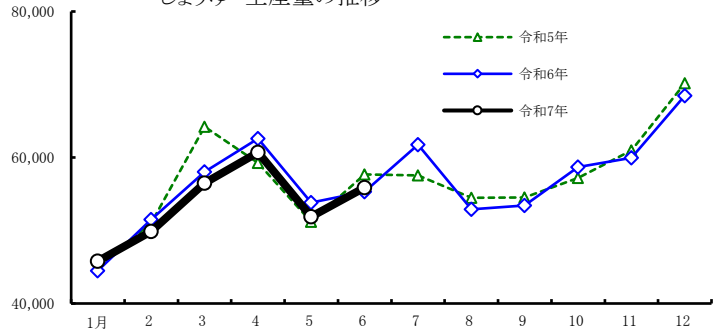


○ しょうゆ

生産量 対前年同月比

6月 1.0% 増加

(kl) しょうゆ 生産量の推移

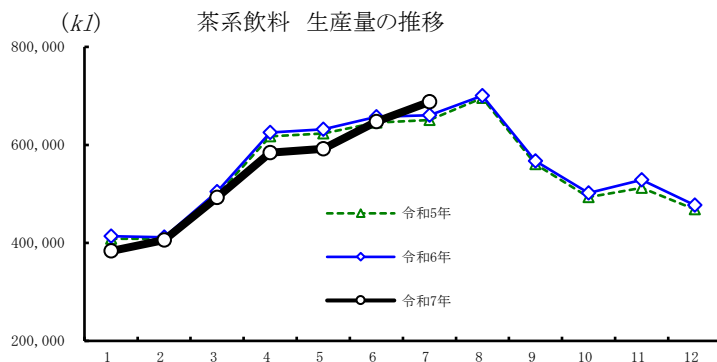


1. 加工食品の生産動向

○ 茶系飲料

生産量 対前年同月比

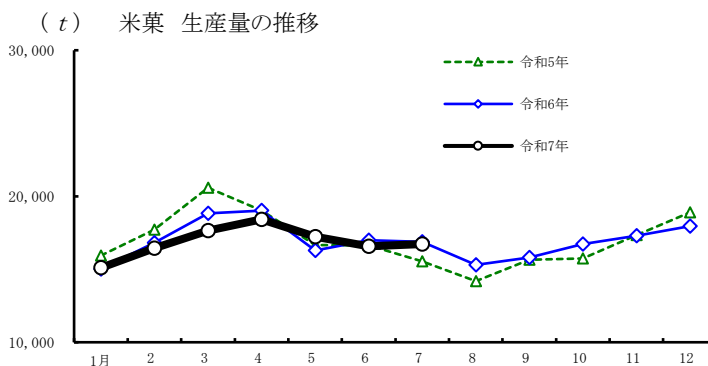
7月 4.1% 増加



○ 米菓

生産量 対前年同月比

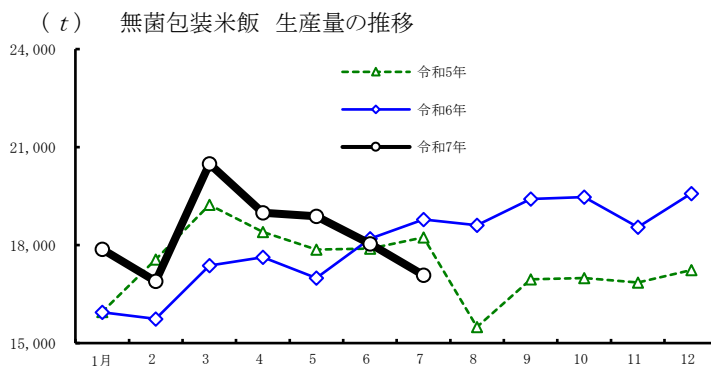
7月 0.9% 減少



○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比

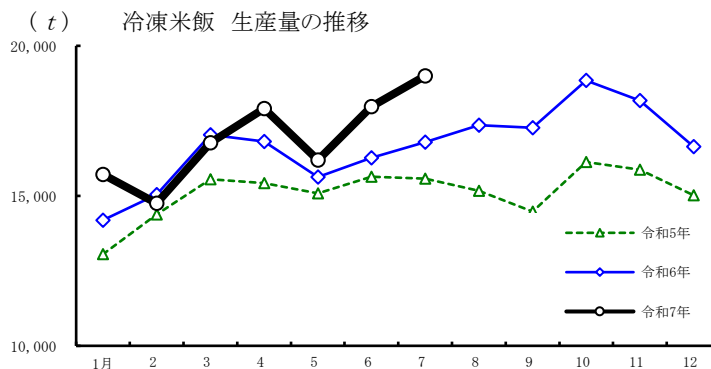
7月 9.0% 減少



○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比

7月 13.2% 増加



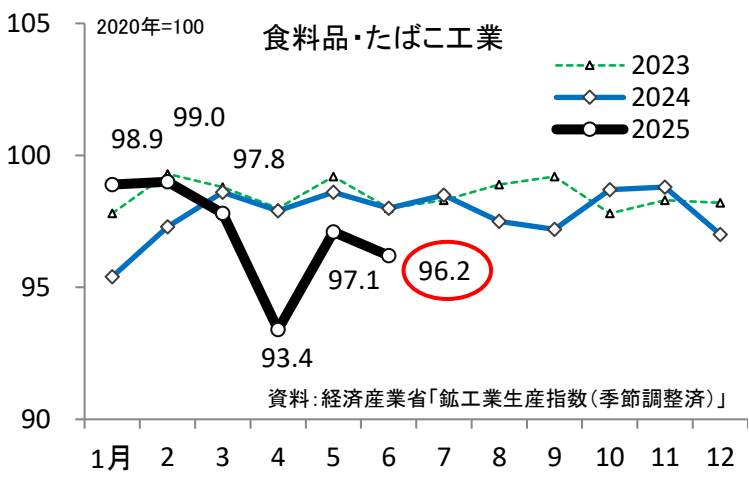
<参考> 食料品・たばこ工業の生産動向
(経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ 食料品・たばこ工業

生産指数 対前年同月比

6月 1.8% 低下

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。



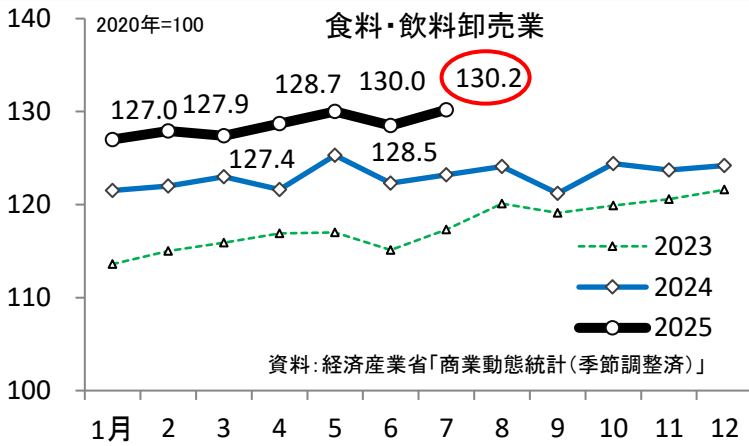
2. 食品卸売業・食品小売業

○ 食料・飲料卸売業

売上高 対前年同月比

7月 5.7% 増加

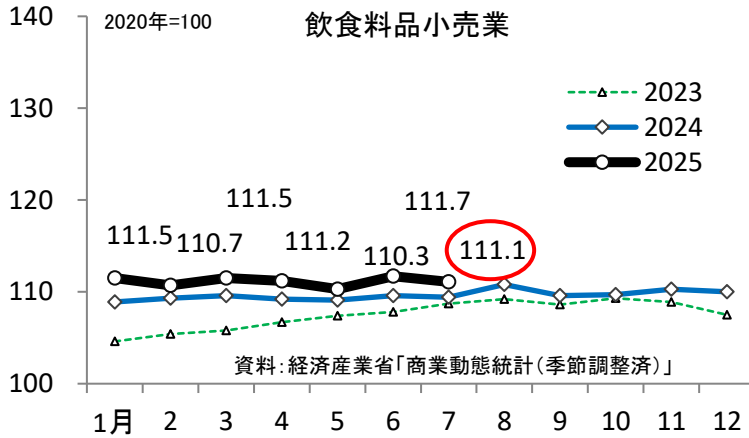
経済産業省「商業動態統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別(スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品都等の売上高(月次速報)について、みることができます。



○ 飲食料品小売業

売上高 対前年同月比

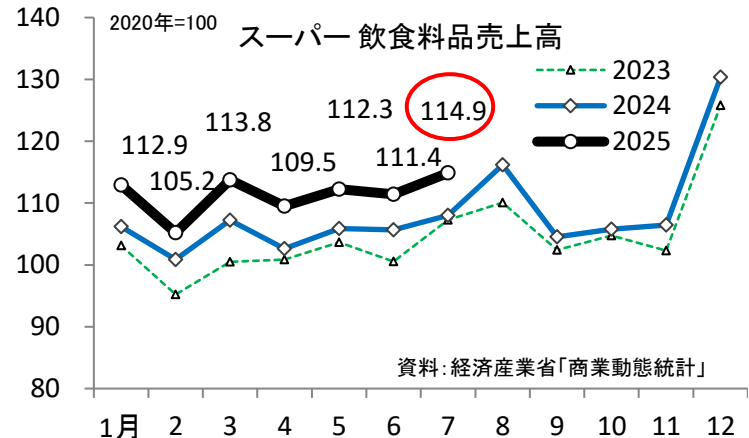
7月 1.6% 増加



○ スーパー

飲食料品売上高 対前年同月比

7月 6.3% 増加

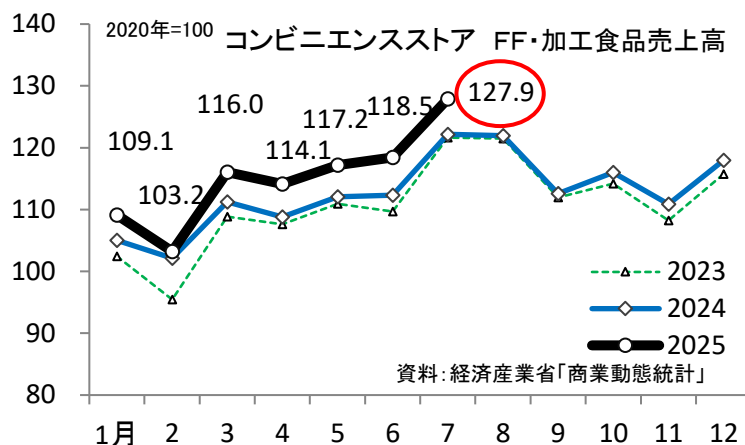


2. 食品卸売業・食品小売業

○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比

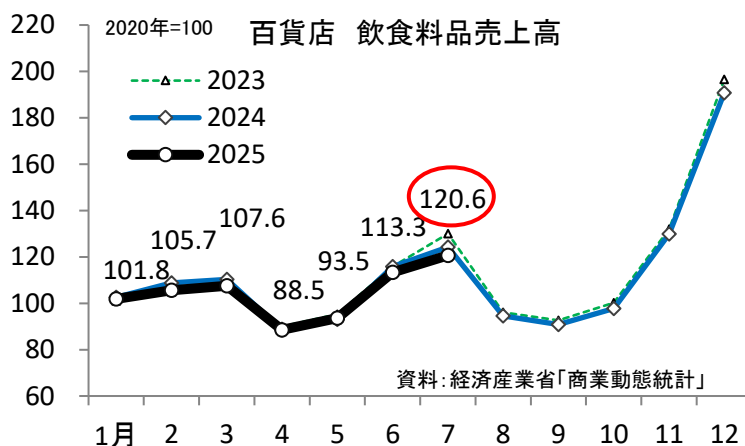
7月 4.7% 増加



○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比

7月 2.9% 減少



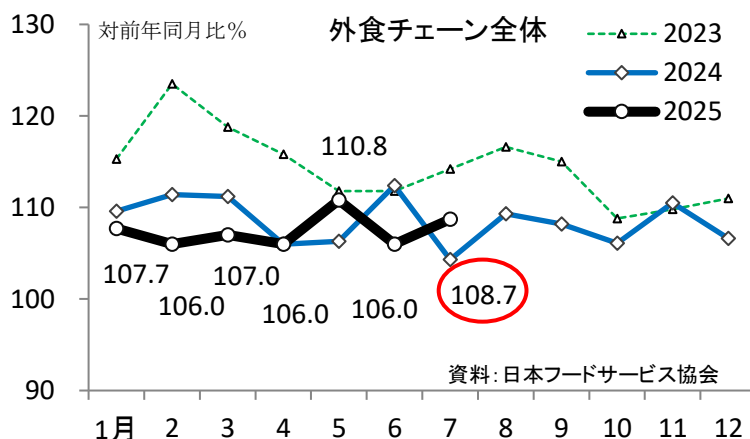
3. 外食産業

一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。

○ 外食チェーン全体

全店売上高 対前年同月比

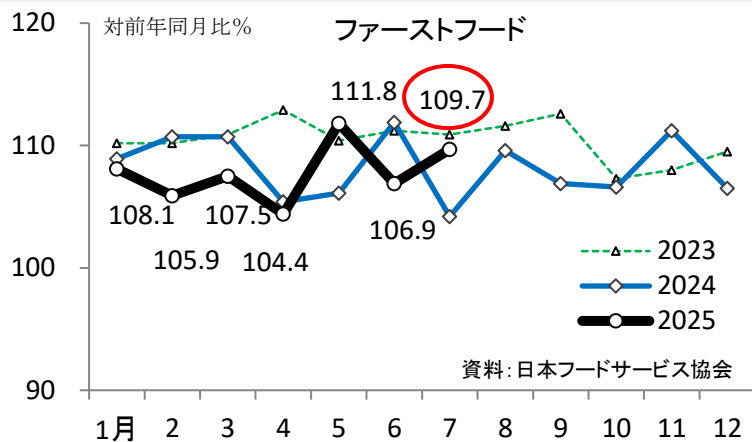
7月 8.7% 増加



3. 外食産業

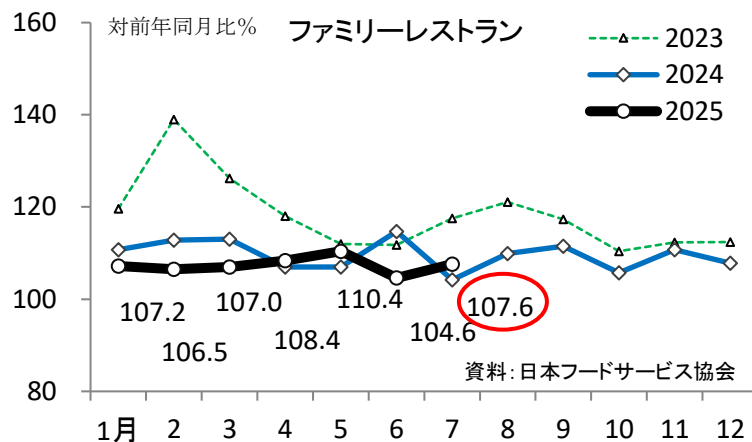
○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比
7月 9.7% 増加



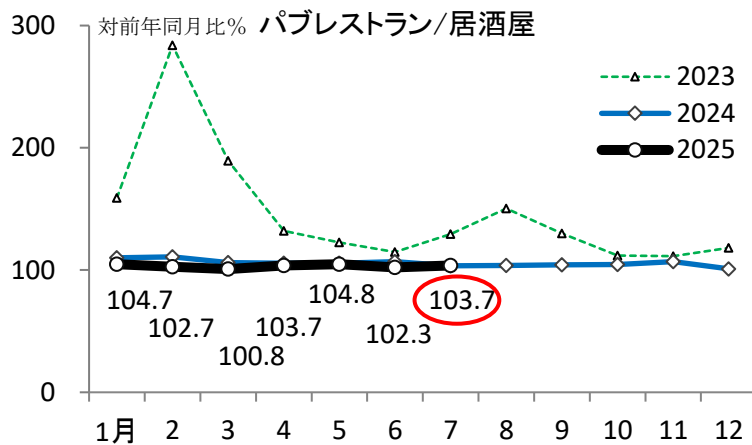
○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比
7月 7.6% 増加



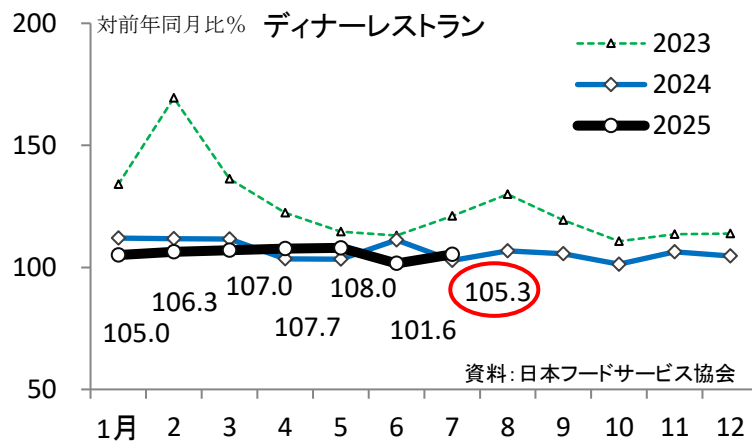
○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比
7月 3.7% 増加



○ ディナーレストラン

全店売上高 対前年同月比
7月 5.3% 増加

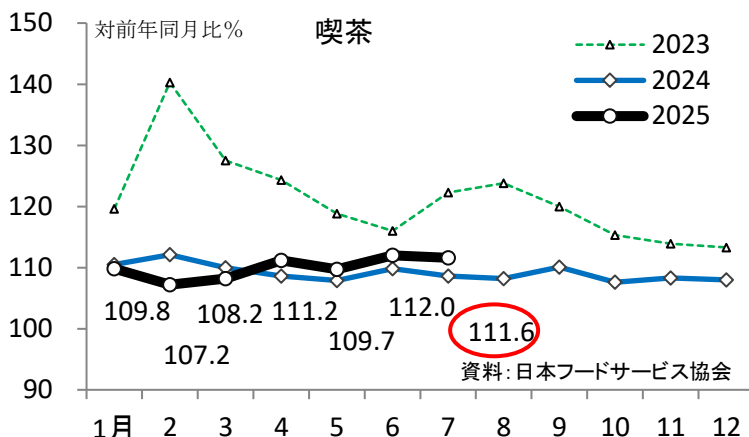


3. 外食産業

○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比

7月 11.6% 増加



4. 食料品の物価

○ 企業物価指数

企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、現在時点の価格を、基準時点（2020年）の価格を100として、指数化したもの。

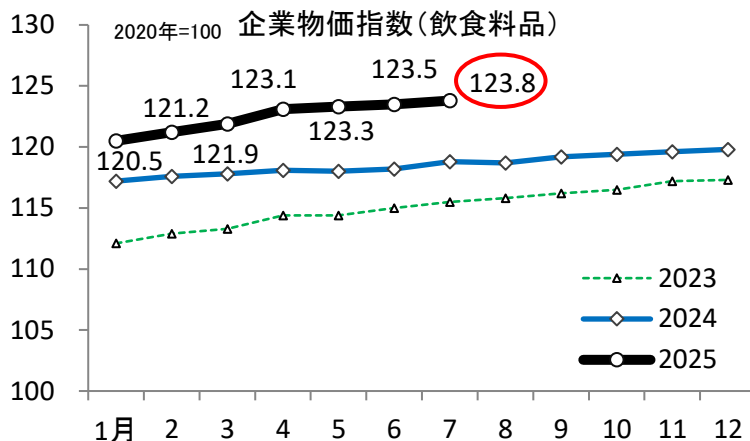
このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」

○ 企業物価指数 （飲食料品）

飲食料品 対前年同月比

7月 4.2% 上昇



○ 消費者物価指数

消費者物価指数は、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合的に測定し、物価の変動を時系列的に測定するもの。

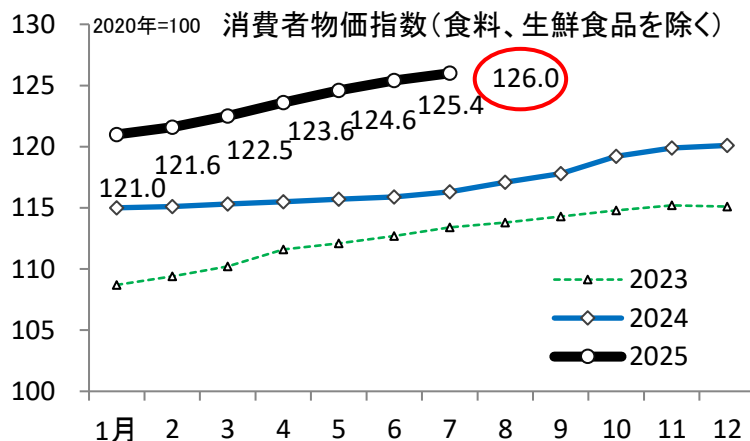
このうち、食料（生鮮食品を除く）について、みることができます。

資料：総務省「消費者物価指数」

○ 消費者物価指数 （食料（生鮮食品除く））

食料 対前年同月比

7月 8.3% 上昇



令和6年における飲食料品・食料用農水産物の輸入物価は対前年比7.0%とかなりの程度上昇

飲食料品・食料用農水産物の輸入物価は、令和3年以降は急激な円安の進行による輸入価格の上昇に加え、一部の輸入農林水産物の需給ひっ迫などから、令和4年是对前年比27.9%と大幅な上昇となった。令和5年是对前年比2.3%とわずかな上昇にとどまったものの、令和6年は同7.0%とかなりの程度上昇となった。

図1 飲食料品・食料用農水産物の輸入物価指数と為替レート指数の推移

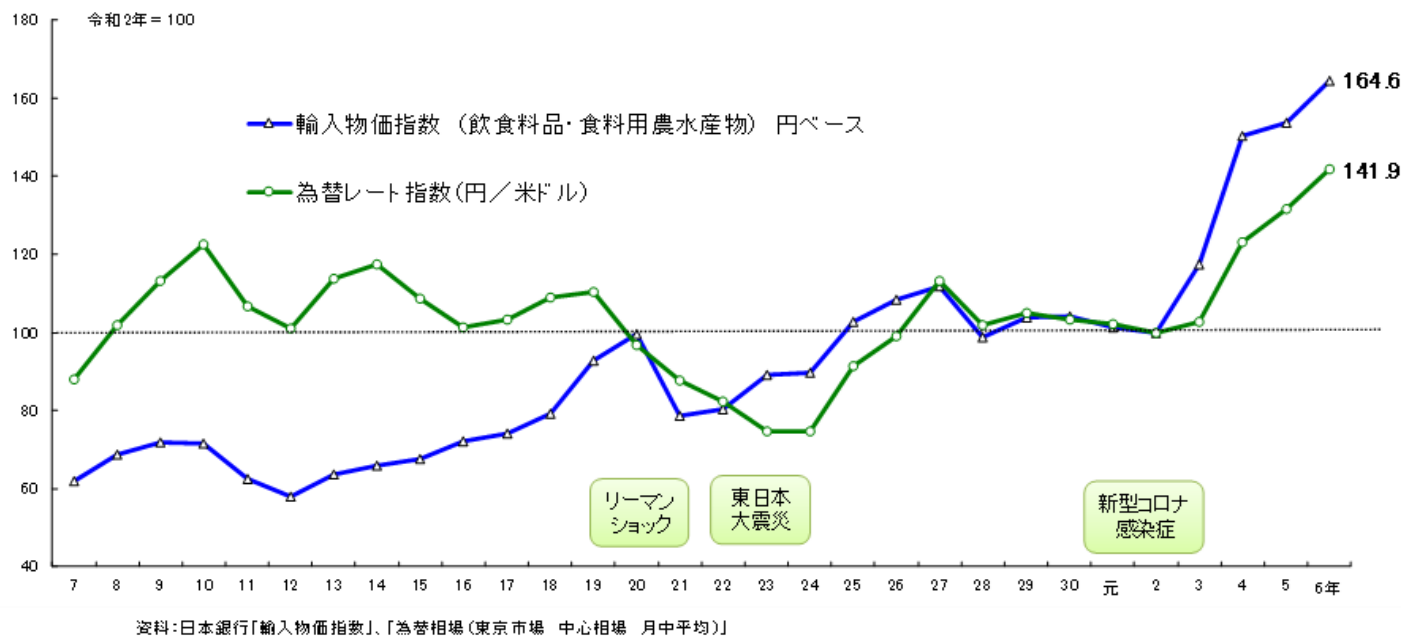
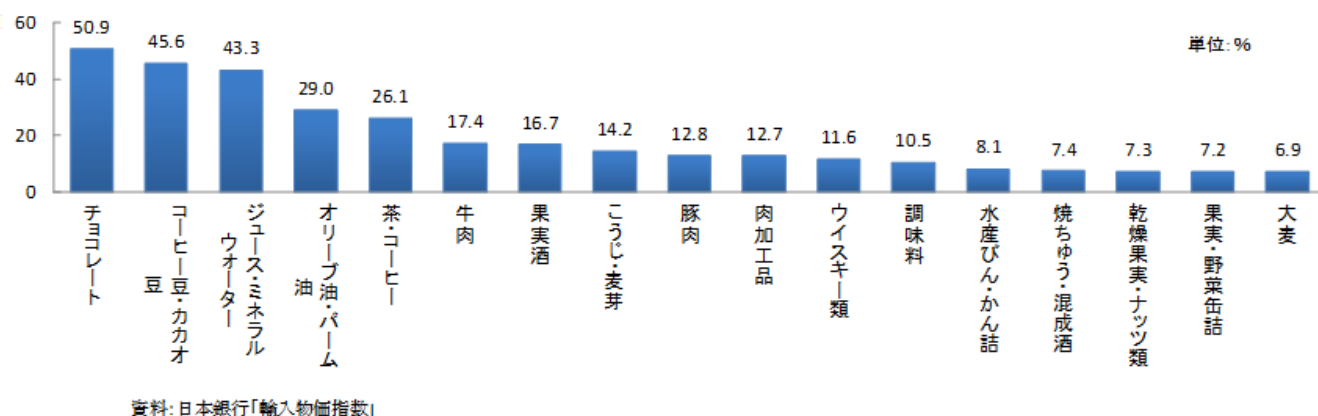


図2 令和6年における輸入物価の主な上昇品目（対前年上昇率）



令和 6 年の飲食料品の企業物価は対前年比2.6%とわずかに上昇、消費者物価は4.3%とやや上昇
飲食料品の企業物価は、令和 5 年は対前年比7.3%であったが、令和 6 年は同2.6%と製造原価コストの上昇を背景にわずかに上昇した。
食料の消費者物価は、令和 5 年は対前年比8.0%であったが、令和 6 年は同4.3%とやや上昇し、近年にはない上昇幅となった。

図 3 食品の企業物価指数(CGPI)、消費者物価指数(CPI)の推移

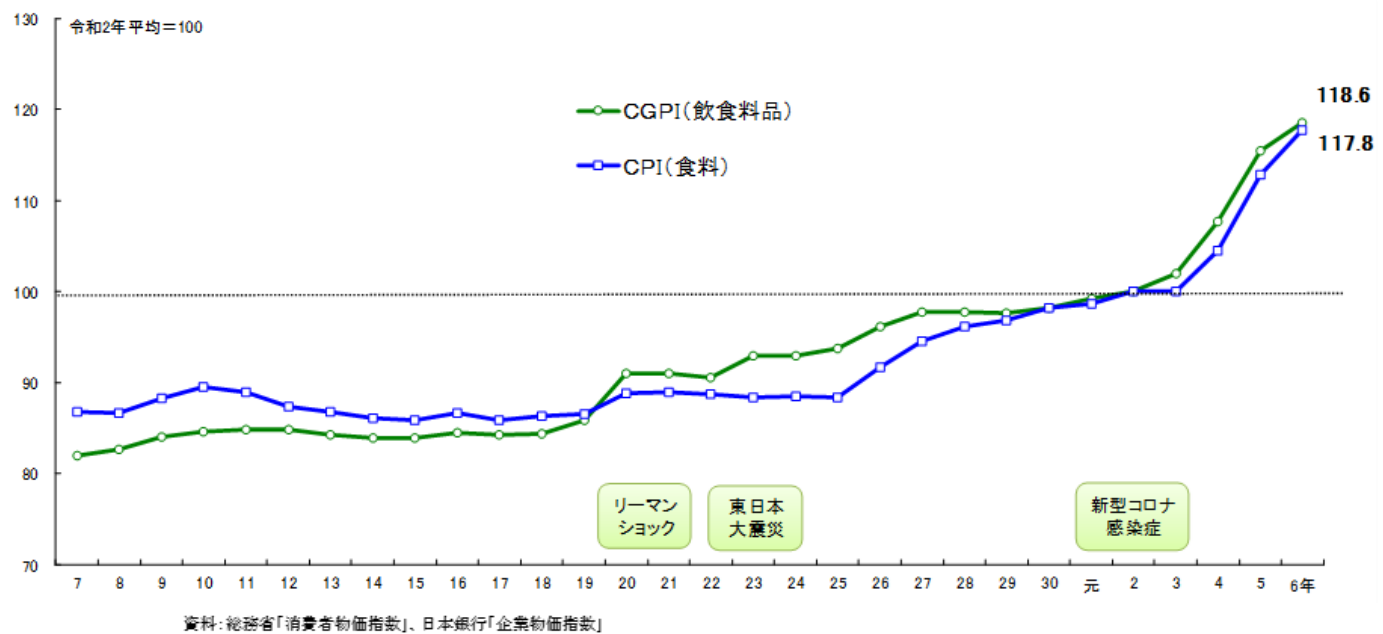


図 4 令和 6 年における企業物価の主な上昇品目（対前年上昇率）

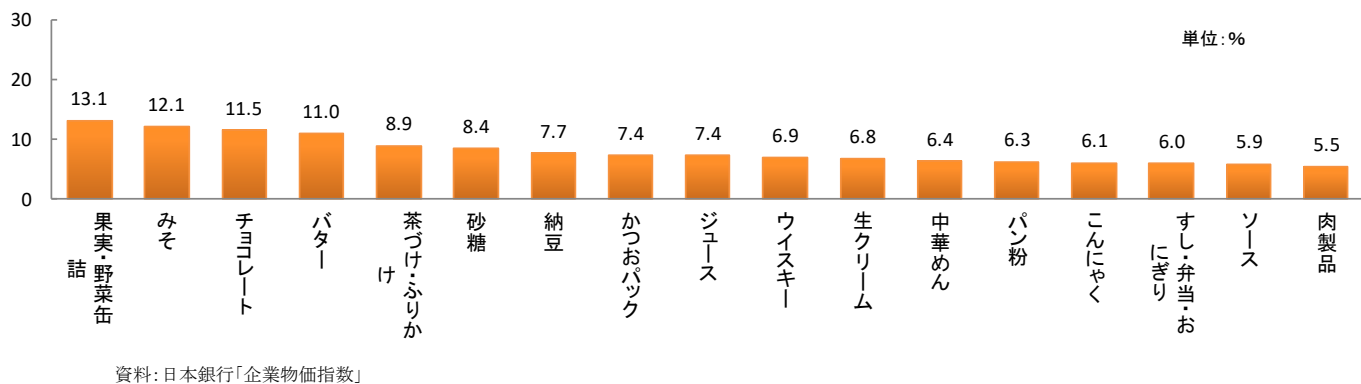


図 5 令和 6 年における消費者物価の主な上昇品目（対前年上昇率）

